



### 医科・歯科連携の現状



上原 弘美

平成 24 年度の診療報酬改定で「周術期口腔機能管理」（平成 30 年度の改訂より「周術期等口腔機能管理」）が保険収載されることとなりました。主のがんの手術、化学療法や放射線療法、移植医療、胸部外科手術そして緩和ケアを受ける患者を対象とし、さらに平成 30 年度の改定では人工股関節置換手術など整形外科手術などにも適応範囲が広がっています。診療報酬は「医科」・「歯科」・「調剤」と区分されていますが、この「周術期等口腔機能管理」は、医科病名のついている患者に対して、歯科が関わることで「医科」「歯科」ともに診療報酬がつくという珍しいもので、医科歯科連携推進のために設けられました。

手術や投薬治療、またリハビリテーションを目的に入院する患者にとっては、現疾患の治療や症状の改善、社会復帰などがその目的となります。入院期間中にNSTによる栄養管理は普及し、チーム医療として実施している病院は多くみられますが、経口栄養の入り口である「口腔」の評価を実施している病院はどの程度あるのでしょうか。平成 30 年 3 月に報告された「病院における医科・歯科連携に関する調査（平成 30 年 3 月）」（公益社団法人日本歯科医師会 日本歯科総合研究機構）は、全国 8,437 施設（平成 29 年 7 月時点の保健医療機関のうちの全ての病院）を対象としておこなわれました。そのうち「歯科を標榜している病院」は 1,745 施設、「歯科のない病院」は 6,692 施設で、全国の病院のうち約 80%には院内に歯科がなく、「歯科のない病院」のうち回答のあった

2,475 施設（有効回答率 37%）では「口腔に関する情報を入院時に把握している」病院は 27.5%、「周術期口腔機能管理」は 63.4% の病院で実施していないという回答で、医科歯科連携はまだまだ



これからという結果でした。また、今後歯科を設置する意向は 90%以上が「ない」と回答し、歯科医療は外部組織からの訪問等による支援が求められていることがわかりました。歯科に求める

ものとしては「肺炎等の予防」や「摂食機能療法」で、これらは歯科疾患の治療というよりも、口腔衛生管理や機能管理であり、日々の口腔のケアの質の向上が重要となります。

神戸掖済会病院では口腔アセスメントシートを作成し、看護師による口腔のケアの質の向上を図るとともに、言語聴覚士による摂食機能療法が積極的に実施されています。この度、歯科衛生士として歯科専門職の視点から口腔の健康管理に関わらせていただくこととなりました。看護師をはじめ他の医療職の方々と協働して、入院患者さまへのより質の高い医療やケアの提供に寄与できればと思っています。

神戸常盤大学短期大学部

口腔保健学科 上原 弘美



# 当院における 歯科衛生士の役割

口腔は全身状態の影響を受けやすく、また口腔トラブルが全身へ影響することがあるため、入院中の口腔の管理は重要となります。当院においては、2019年6月に垂水区歯科医師会と兵庫県歯科衛生士会との協議会で、歯科衛生士による訪問システム構築について話し合いを持ちました。そこで、口腔ケアのさらなる充実と口腔内環境の改善によるADL、QOLの向上、訪問歯科診療の連携を目的に、2019年7月より週に1回、歯科衛生士2名派遣していただくことになりました。

歯科衛生士の役割として、① 口腔ケアの技術助言や援助など、病棟スタッフ・患者・家族への口腔保健指導の実施②口腔内状態の評価③ 歯科医師会との連携窓口としました。

回診対象を、摂食機能療法を実施している患者・口腔ケアに難渋している患者・義歯の不適合患者・THA手術前後の患者とし、毎週水曜日午前9時30分～12時30分までの2時間を回診時間にあて、前後30分程度病院スタッフとの調整業務時間にしています。

9月までの3か月間で述べ146人、1回の訪問あたり平均13人の回診が行えています。

評価ツールとして、「口腔アセスメントシート」を使用することで多職種による電子カルテ内で情報の共有ができるようにしました。

病棟スタッフへの歯科保健指導はもちろんのこと、個々の患者にあった口腔ケアの方法の提供や、直接専門的口腔ケアの実施、患者本人やご家族への指導も実施してもらっています。

歯科衛生士より直接指導を受けることで、病棟スタッフは患者に合った口腔ケアスキルを学ぶことができ、正しい口腔ケアが継続されることで、あきらかに質のいい口腔環境が保たれることを実感しています。

急性期病院で治療が進んでいく中で、歯科医師が関わっていくタイミングが難しいところはありますが、入院中の口腔内トラブル（歯科的対応）については、歯科医師会と連携をとりながら早期の対応を進めていくことが重要であると考えます。

まだ、対象者の選定や回診を効率的に実施していくための問題が山積みではありますが、今後も看護師をはじめ、多職種への口腔ケア管理の普及と向上に努めていきたいと考えています。また一方、より良い口腔内環境が維持できるように、地域と連携をとりながら切れ目のない口腔ケアの提供をしていきたいと考えています。



患者サポートセンター

統括師長 緒方 由美

(どなたでもご参加頂けます) \*

# 第3回 世界糖尿病デーイベント

神戸療養会病院 1階07-

11月16日(土)

午前 9時~12時

# 知ろう 防ぼう 糖尿病

参加無料

申込不要

~自分や大切な人のために~

## 第6回

(医療従事者各位)

## 地域医療連携の会

11月14日(木) 18:30~

舞子ピラ 3階

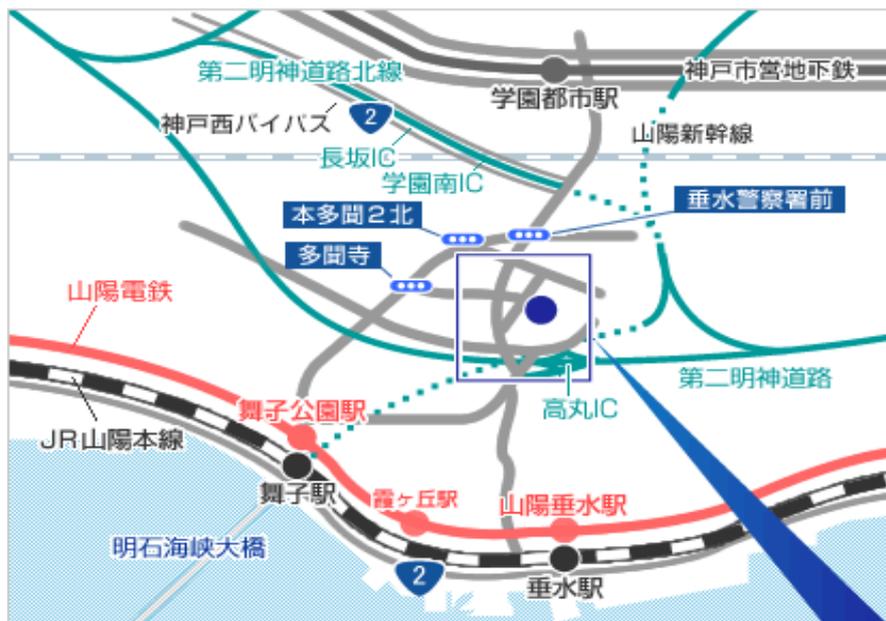
「人工関節について」 整形外科医師 藤戸 稔高

「ポリファーマシーについて」 薬剤師 神足 杏子

「地域に広がる心不全チームの輪」 循環器内科医師 中ノ瀬 晃一

「DM-net及び糖尿病チームの活動」

内科医長 深水 英昭 / 主任看護師 大塔 靖子



周辺図 ▶



【地下鉄学園都市駅から】山陽バス・神戸市バス 約12分

【地下鉄名谷から】山陽バス 約20分

【JR垂水駅から】山陽バス・神戸市バス 約20分



〒655-0004  
 神戸市垂水区学が丘1丁目21番1号  
 TEL : 078-781-7811 (代表)  
 FAX : 078-781-1511  
<http://www.kobe-ekisaikai.or.jp>